

第2回羽曳野市総合基本計画審議会 意見と対応案

(頁数はすべて「基本構想素案」のもの)

頁	項目	委員意見	事務局対応
2	計画策定の視点	<ul style="list-style-type: none"> 「基本構想」を大きな意味で描いているのであれば、「はびきの軽トラ市」や「はびきの中学生 study-O」といった、具体的な事業名が出ている点には違和感がある。これらの具体的な事業名を出すのであれば、子育て支援等の施策も出すべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 該当箇所については削除しました。
17	現行計画の総括と課題	<ul style="list-style-type: none"> 総括部分では、なぜ目標人口に達することができなかったのか、が説明されていない。計画の中で人口目標が大事であれば、総括的な言及が必要かと思う。 現行総計で目標人口を設定した根拠がないと納得できない。どうしてこうなったのか、という総括をもう少し丁寧に分析していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 「第5次羽曳野市総合基本計画の総括と課題」に目標人口の検証内容を追加しました。(17頁参照) 現行総計の目標人口と結果の詳しい検証と各データについては、当日の配付資料にて別途説明致します。
24	まちづくりの戦略目標 (ストーリーについて)	<ul style="list-style-type: none"> 『ひと、自然、歴史文化を育み 笑顔輝く 羽曳野～ みんなでつくる 誰もが住みたいまち ～』をめざすまちの将来像にするならば、羽曳野に住んでいる人たちが、笑顔になって、輝いて、みんなが住みたいまちにしたいというストーリーが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 「第1節 まちづくりの戦略目標」の冒頭に、まちの将来像と戦略目標の関係性を説明する文章と図を追加しました。(24頁参照)
24	(重点化について)	<ul style="list-style-type: none"> 審議会の意見としては、少しあやふやでおいとおうという「基本構想」の位置づけ自体を考えて直していただきたい。戦略という意味での文章の表現の議論を今からでもやっていただきたい。 3つのまちづくりの戦略と2つの基本姿勢には、羽曳野市のまちづくりの想い、意思が入っている。まずはここに関して妥当なのかどうかを議論することが大事であると思う。第3回も引き続き議論が必要である。 羽曳野市として、何を一番大きな目玉として、人口減少を防いでいくのかを考え、現行計画を見直していかないといけない。 	<ul style="list-style-type: none"> 現行の計画では、5つの総合的な政策を柱として、総花的にまちづくりの目標を設定しています。今回の改訂にあたっては、今後急速に進む人口減少社会のなかで、市の活力を維持していくためのより打出し感のある目標として、3つの「戦略目標」というものを設定しております。それが重点的であることをより明確にするために、該当箇所の説明文を修正いたしました。(24～26頁参照)

頁	項目	委員意見	事務局対応
		<ul style="list-style-type: none"> • 羽曳野の学力は府下平均より少し低い状態。例えば生駒市は子どもの学力の向上を売りにしているとの報道を目にしたが、今後はそういうことを売りにしないと子どもも減るのではないかと思う。 	
24	(記載内容について)	<ul style="list-style-type: none"> • (3) 子育て・教育のところで、「生きる力」を身につける教育、とあるが、それだけだともったいないと感じた。先ほどの生駒市の例もあるが、この市で暮らして子どもの教育をしたいと思える文言として、例えば「生きる力・知力」など、学力もつくのだということ表現してはどうか。力を入れることを書けば、他市からも人が入ってくるのではないか。 • 「基本構想」はざくっとしたものになるのであれば、「基本計画」に書く内容を教えてもらいながら議論すれば、わかりやすいかなと思った。 • 重点、住みやすさという点を考えれば、若い世代は、教育などについてしっかりとした考え方を持っている市に集まるかと思う。 • 教育を考えるのであれば、高校は地域の教育の基盤となるので忘れないほうがよいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> • ご指摘のあった子育て・教育の部分についても、文章を見直し、修正させていただきました。より具体的な取組みが記載される「基本計画」については、その概要を当日資料としてお示しさせていただきます。
27	まちづくりの基本姿勢	<ul style="list-style-type: none"> • まちづくりの基本姿勢は、第5次総合基本計画を引きずっている部分もあると思う。現行計画をどのように新陳代謝していくのかを書かないといけないのではないか。 • 経営の視点とあるが、例えば保育所であれば民間委託に任ず、幼稚園については、幼保一元化を徹底していくなど、そのように打ち出さないとなかなか動いていかないのではないか。もっと大胆に取り組む方向を打ち出すべきではないか。 • 進行管理や行財政の構造改革については、経常収支比率や公債費比率を下げるなど、具体的に書いてもらうほうが担当のほうも仕事しやすいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> • ご指摘の行財政運営の方向性についての記載につきましては、「まちづくりの基本姿勢」の中でお示ししているところですが、こちらについても文章を一部修正させていただきました。(27頁参照)

頁	項目	委員意見	事務局対応
	その他	<ul style="list-style-type: none"> • 女性が安心して生き生きと暮らしていける、というようなフレーズが出てきた。男性と切り離れた女性というのはいり得ないので、“女性だけの施策とか”、“女性だけをターゲットにした”という言い方はやめた方がいいのではないかという点だけ共有していただきたい 	<ul style="list-style-type: none"> • 計画策定にあたっては、ご指摘の点を念頭に検討して参ります。